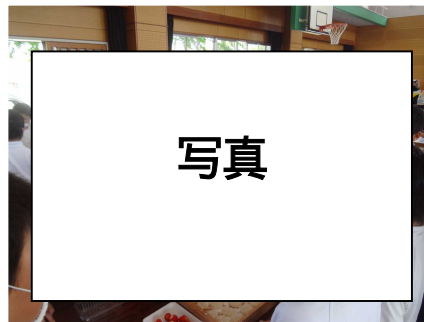


イチゴ大福作りにチャレンジ

土橋小では、例年5月にイチゴ狩りを実施していますが、今年は農村環境保全活動に取り組む「中川ふるさと保全会」と中川で伊集院まんじゅうを製造する方の支援で、イチゴ大福作りにチャレンジしました。



この日は、保全会が準備したマイクロバスでイチゴハウスへ送迎をしていただいた後、体育館でイチゴ大福作りに取り組みました。伊集院まんじゅうの生地でイ

チゴをくるんで丸めますが、これがなかなか難しく、生地が破れたり、イチゴがはみ出したりするので、下学年の子どもは悪戦苦闘していました。しかし、手伝いのお母さん方の手を借りながら、一人4・5個のイチゴ大福を作りあげることができました。新聞でも「特産イチゴと伊集院まんじゅうの初コラボ」と紹介されましたが、伊集院まんじゅうの生地の甘さと、イチゴのほどよい酸味がぴったり合い、子どもたちにも大変好評でした。



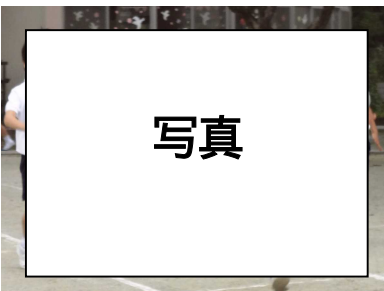
体力・運動能力調査

5月16日(木)の3・4校時に体力・運動

能力調査が行われました。子どもたちは、「50m走」「ソフトボール投げ」「反復横跳び」等、9種目に取り組みました。

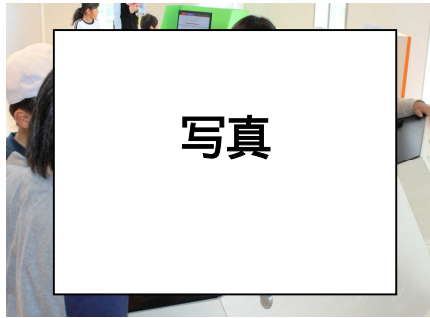
近年、全国的に子どもの体力低下が問題となっており、学校現場でも体力向上に向けた様々な取組がなされてきました。本校でも平成23年度から2年間「チェストいけひおきっ子」事業に取り組み、昨年

研究公開を実施しました。今年度は、子どもたちの体力向上についての研究は一区切りというところですが、今後も教科体育等を通じて子どもたちの健やかな体づくりに取り組んでいきます。ご家庭でも「ノビレッチ(ストレッチ運動)」や「ジャンピー(短縄跳び)」等に親子で取り組んで、生活の中で運動する習慣を身に付け、子どもたちの体力向上を図ってくださいますようお願いいたします。



科学の不思議を体験，鹿児島市立科学館

5月2日(金)は一日遠足でした。この日は絶好の遠足日和で、目的地は3月にリニューアルしたばかりの鹿児島市立科学館と健康の森公園でした。科学館は、「もっと科学がおもしろくなる、もっと鹿児島が好きになる」をテーマに、内容を大幅に入れ替えており、桜島の魅力や太陽系の神秘について、来館者が見たり、さわったりして理解できるよう、随所に工夫が凝らされていました。



子どもたちはさまざまな実験ショーを楽しんだり、参加体験型の展示物を集めた「サイエンスラボ」に見入ったりして、科学の不思議を体験していました。

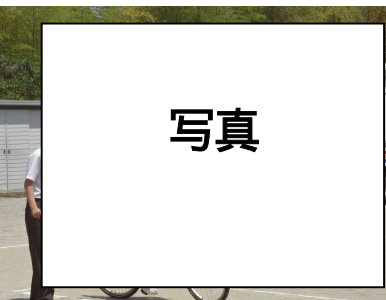
子どもたちはさまざまな実験ショーを楽しんだり、参加体験型の展示物を集めた「サイエンスラボ」に見入ったりして、科学の不思議を体験していました。

不審者対応避難訓練

5月1日(水)、校内と登下校中の不審者対応訓練を行いました。今年も2年生教室へ不審者が侵入したことを想定して、訓練が開始されました。不審者対応係の職員は、さすまた等をもって2年教室に駆けつけ、侵入者を取り囲んで牽制するなど、実践さながらの訓練も行いました。



交通安全教室



5月14(火)は、県警の移動交通安全教室「ひまわり号」を招いて、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方を学習しました。下学年の子どもたちは横断歩道の渡り方、上学年の子どもたちは自転車の乗り方の練習をしました。

校区内の道路は車の交通量が多いだけに、交通教室で学んだことを実

際の生活に生かして、事故に遭わないようにしましょう。

上土橋自治会の棒踊り

上土橋自治会の奉納棒踊りが、四月二十八日(日)勝護院で行われました。本校の児童は、四年生二名、六年生一名が参加し、中・高校生に混じって、躍動感とスピード感のある踊りを披露してくれました。